

年間学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育てるようにする。</li> <li>・日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。</li> <li>・社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。</li> </ul>
--------	---

学期	学習計画(单元名)	学習内容
前期	縄文のむらから古墳のくにへ	○縄文時代から米づくりが始まったころまでの様子を、遺跡や出土品・想像図などから調べ、むらやくにが大和朝廷により統一されていったようすをとらえる。
	天皇中心のくにづくり	○大仏建立の様子や大陸文化の摂取、貴族の生活等を調べ、天皇中心の国づくりが進められたようすをとらえる。
	武士の世の中へ	○平清盛や源頼朝の働きを中心に、武士がどのように勢力をのばし、どのような政治を行ったかなどをとらえる。
	今に伝わる室町文化	○京都に幕府が置かれたころの文化はどのようなものだったかをとらえる。
	戦国の世から江戸の世へ	○戦国の世がおさめられていくようすや、江戸幕府がどのような政治をおこなったのかをとらえる。
	江戸の文化と新しい学問	○伊能忠敬の日本地図の作成や、新しい学問が発達し、町人の文化が栄えたことをとらえる。
後期	明治の国づくりを進めた人々	○明治政府の政策について調べ、日本が近代化を進めていったころのようすをとらえる。
	世界に歩みだした日本	○陸奥宗光の条約改正を中心に調べ、国際社会における日本の地位が向上していったことをとらえる。
	長く続いた戦争と人々とくらし	○太平洋戦争の背景と経過を調べ、敗戦によって国民が大きな被害を受けたことや中国をはじめとする諸国に大きな損害を与えたことをとらえる。
	新しい日本、平和な日本へ	○戦後我が国が民主国家として新たに出発し、国民生活が向上したこと、国際社会において重要な役割を果たしてきたことをとらえる。
	わたしたちの願いを実現する政治	○日常生活と政治の働きとの関係をとらえる。
	わたしたちのくらしと日本国憲法	○日本国憲法について三つの原則を学習するとともに、国家と国民生活について定めてあることをとらえる。
日本とつながりの深い国々	○日本が世界の国々と深く結びついていることをとらえる。	
世界の未来と日本の役割	○日本が世界の人々と協力して、世界平和や環境問題について重要な役割を果たしていることをとらえる。	
年間授業時数 105時間		

社会科の評価

社会的な事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察資料活用の技能・表現	社会的な事象についての知識・理解
我が国の歴史と政治及び国際社会における我が国の役割に関心をもち、それを意欲的に調べ、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を持つとともに、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚をもととする。	我が国の歴史と政治及び国際理解に関する社会的な事象から学習問題を見いだして追求し、社会的な事象の意味についてより広い視野から思考・判断したことを適切に表現している。	我が国の歴史と政治及び国際理解に関する社会的な事象を的確に調査したり、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしている。	国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解している。

○学習に取り組む姿勢、单元ごとに行うテスト、適宜行うテスト(地図を中心に)、発言内容、提出物、ノートの記録、情報収集の様子、学習のまとめなど具体的な事柄で評価します。学習の結果だけでなくその過程も評価します。

保護者の方へ

- 学習内容の定着を図るために、社会科資料集や新聞記事などを活用します。
- 情報を手に入れるための手段として、図書室の本やインターネットを利用します。